

# Cisco IP Communicator の概要

---

次の項では、Cisco IP Communicator の概要について説明します。

- Cisco IP Communicator の機能 (P. 15)
- Cisco IP Communicator インターフェイスの使用法 (P. 16)
- コール処理とナビゲーションのヒント (P. 22)

## Cisco IP Communicator の機能

Cisco IP Communicator の機能は従来の電話機の機能とよく似ており、コールの発信、受信、保留、番号の短縮ダイヤル、コールの転送などを行うことができます。Cisco IP Communicator は、コール処理機能を拡張およびカスタマイズできる特別な電話機能（コールパークや Meet-Me 会議など）もサポートしています。

また、コール処理機能の他に次の機能もサポートしています。

- [オーディオ調整ウィザード]
- [クイック検索] によるディレクトリからのダイヤル
- ユーザ オプション Web ページおよび電話サービスへの簡単なアクセス
- 包括的なオンライン ヘルプ システム
- Cisco IP Communicator の外観の変更
- ドラッグアンドドロップ ダイヤル
- カットアンドペースト ダイヤル
- ポップアップ着信通知
- 英数字ダイヤル
- 新しいキーボードショートカット
- Cisco Unified Video Advantage Release 2.0 とのビデオの相互運用性

Cisco IP Communicator のコンポーネントの概要については、P. 16 の「Cisco IP Communicator インターフェイスの使用法」を参照してください。

# Cisco IP Communicator インターフェイスの使用法

ボタンやメニュー項目をクリックするにはマウスを使用し、文字、数字、キーボードショートカットを入力するにはコンピュータのキーボードを使用します。

Cisco IP Communicator には、スキンと呼ばれる 2 つのデスクトップ表示が用意されています。

- 図 1 に、コンパクトモードを選択した場合の Cisco IP Communicator を示します。
- 図 2 に、デフォルトモードを選択した場合の Cisco IP Communicator を示します。

表 3 に、両方のスキンが共有するボタンや他のコンポーネントを示します。

図 1 コンパクトモードを選択した場合の Cisco IP Communicator

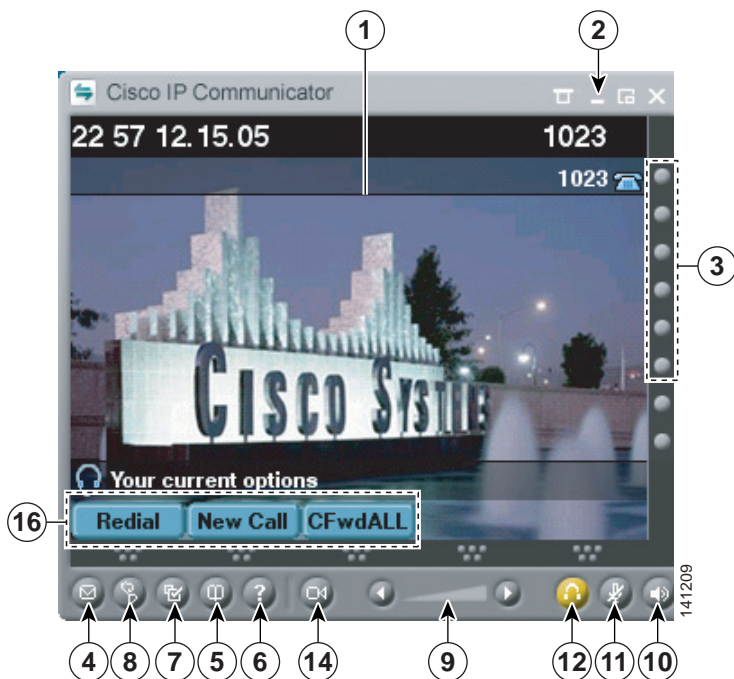


図2 デフォルトモードを選択した場合の Cisco IP Communicator



表3 ボタンおよび他のコンポーネント

1	電話スクリーン	コールの状態や機能メニューを表示、および項目をアクティブにする場合に使用します。詳細については、P. 21 の「電話スクリーンの機能」を参照してください。
2	ウィンドウ制御ボタン	メニューを表示する場合、Cisco IP Communicator インターフェイスを非表示にする場合、スキンを切り替える場合、またはアプリケーションを終了する場合に使用します。P. 32 の「機能の操作性とアベイラビリティについて」を参照してください。

表 3 ボタンおよび他のコンポーネント（続き）












<p>3</p>	<p>回線ボタンおよび短縮ダイヤルボタン</p> 	<p>各ボタンで回線の開閉、または番号の短縮ダイヤルを行います（これに対応するキーボードショートカットは Ctrl+1 ~ 8 です）。回線ボタンにより、回線の状態が次のように表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> • 緑、点灯：この回線のコールはアクティブです（オフフック）。</li> <li> • 緑、点滅：この回線のコールは保留状態です。</li> <li> • オレンジ、点滅：この回線で着信コールが鳴っています。</li> <li> • 赤：共有回線で、現在使用中です。</li> <li> • 色なし：この回線でコール アクティビティはありません（オンフック）。</li> </ul> <p>余分な回線ボタンを短縮ダイヤルボタンにすることができます。P. 57 の「短縮ダイヤルボタンの設定」を参照してください。</p>
<p>4</p>	<p>メッセージボタン</p> 	<p>サービスによって異なりますが、通常はボイスメッセージサービスに自動ダイヤルします（これに対応するキーボードショートカットは Ctrl+M です）。詳細については、この表の項目 16 および P. 81 の「ボイスメッセージ、履歴、およびディレクトリの使用方法」を参照してください。</p>
<p>5</p>	<p>ディレクトリボタン</p> 	<p>[ディレクトリ] メニューを開閉します。発信履歴および社内ディレクトリを表示して、そこからダイヤルする場合に使用します（これに対応するキーボードショートカットは Ctrl+D です）。また、[クイック検索] 機能 (Alt+K) を使用して、ディレクトリを検索することもできます。P. 81 の「ボイスメッセージ、履歴、およびディレクトリの使用方法」を参照してください。</p>
<p>6</p>	<p>ヘルプボタン</p> 	<p>[ヘルプ] メニューをアクティブにします（これに対応するキーボードショートカットは Ctrl+I です）。P. 28 の「コールの選択」を参照してください。</p>
<p>7</p>	<p>設定ボタン</p> 	<p>[設定] メニューを開閉します。電話スクリーンの表示および呼出音を制御する場合に使用します（これに対応するキーボードショートカットは Ctrl+S です）。P. 53 の「Cisco IP Communicator の設定のカスタマイズ」を参照してください。</p>
<p>8</p>	<p>サービスボタン</p> 	<p>[サービス] メニューを開閉します（これに対応するキーボードショートカットは Ctrl+R です）。P. 88 の「ユーザ オプション Web ページへのログイン」を参照してください。</p>

表 3 ボタンおよび他のコンポーネント（続き）

9	音量ボタン 	オーディオモードの音量およびその他の設定を制御します（これに対応するキーボードショートカットは <b>Page Up</b> および <b>Page Down</b> です）。P. 53 の「Cisco IP Communicator の設定のカスタマイズ」を参照してください。 <sup>1</sup>
10	スピーカ ボタン 	スピーカフォン モードのオン / オフを切り替えます（これに対応するキーボードショートカットは <b>Ctrl+P</b> です）。P. 73 の「ヘッドセットおよび他のオーディオ デバイスの使用方法」を参照してください。
11	ミュート ボタン 	ミュート機能のオン / オフを切り替えます（これに対応するキーボードショートカットは <b>Ctrl+T</b> です）。P. 42 の「ミュートの使用方法」を参照してください。
12	ヘッドセット ボタン 	ヘッドセット モードのオン / オフを切り替えます（これに対応するキーボードショートカットは <b>Ctrl+H</b> です）。P. 73 の「ヘッドセットおよび他のオーディオ デバイスの使用方法」を参照してください。
13	ナビゲーション ボタン 	メニューのスクロールや項目の強調表示に使用しますソフトキーと組み合わせて、強調表示された項目をアクティブにすることができます。また、Cisco IP Communicator がオンフックになっているときにナビゲーション ボタンをクリックすると、発信履歴ログの電話番号にアクセスできます。
14	ビデオの起動ボタン 	Cisco Unified Video Advantage を起動します。この機能を使用するには、Cisco Unified Video Advantage Release 2.0 と Cisco IP Communicator Release 2.0 を同じ PC 上で実行している必要があります。
15	ダイヤル パッド	番号や文字の入力、およびメニュー項目の選択に使用します（オプションのスキンでは使用できません）。代わりに、コンピュータのキーボードも使用できます。
16	ソフトキー ボタン 	各ボタンが、ソフトキーをアクティブにします。ボタンではなくソフトキーのラベルをクリックしても、ソフトキーをアクティブにできます（これに対応するキーボードショートカットは <b>F2 ~ F6</b> です）。P. 33 の「Cisco IP Communicator を使用したコール処理」を参照してください。
17	ボイス メッセージおよび着信コールのインジケータ	着信コールおよび新しいボイス メッセージがあることを示します。P. 81 の「ボイス メッセージ、履歴、およびディレクトリの使用方法」を参照してください。

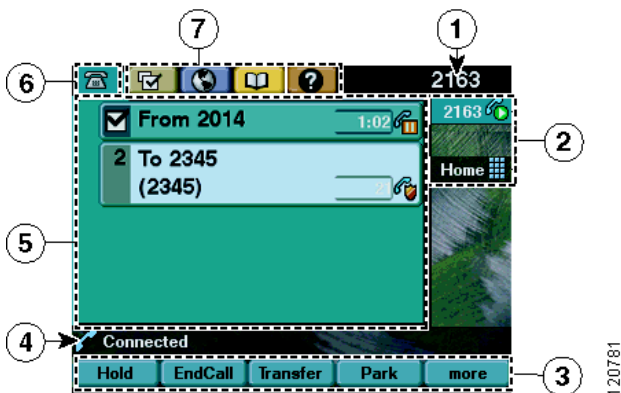
1. Release 2.0 より前のリリースでは、キーボードショートカットは **Ctrl+V** です。




## ヒント

- どちらかのスキンの最上部にあるメニューアイコンをクリックするか、または Cisco IP Communicator インターフェイス上で右クリックすると、設定値の表示や設定、スキンの選択、および画面のみモードの有効化を行うことができます。P. 23 の「メニューの使用方法」を参照してください。
- デフォルトモード（図 2）とコンパクトモード（図 1）では、同じボタンアイコンセットが使用されます。ただし、ボタンの形や場所はスキンによって異なる場合があります。
- ショートカットの完全なリストについては、P. 22 の「キーボードショートカットの使用方法」を参照してください。
- Cisco IP Communicator の電話スクリーンにコールや回線がどのように表示されるかについては、P. 21 の「電話スクリーンの機能」を参照してください。

## 電話スクリーンの機能

コールがアクティブで、機能メニューがいくつか開いている場合、Cisco IP Communicator の電話スクリーンは次のように表示されます。



1	プライマリ電話回線	プライマリ電話回線の電話番号（内線番号）を表示します。
2	プログラマブルボタンのアイコン	<p>電話機のプログラマブル ボタン  の設定を示すアイコン。</p> <p> 電話回線アイコン：電話回線に対応しています。回線アイコンは異なる場合があります。短縮ダイヤルアイコン：有効な場合、短縮ダイヤル ボタンに対応しています。電話機サービスアイコン：有効な場合、Web ベースの電話機サービス（個人アドレス帳など）に対応しています。</p> <p> 機能アイコン：有効な場合、プライバシーなどの機能に対応しています。</p>
3	ソフトキー ラベル	各ラベルでソフトキーの機能を表示します。
4	ステータス行	オーディオ モードのアイコン、ステータス情報、およびプロンプトを表示します。
5	コール アクティビティ 領域	強調表示されている回線のコールおよびコール情報を表示します（標準の表示）。
6	電話タブ	コール アクティビティを示します。このタブをクリックすると、必要に応じてコール アクティビティ領域に戻ります。
7	機能タブ	各タブで開いている機能メニューを示します。

### 関連項目

- Cisco IP Communicator インターフェイスの使用法（P. 16）
- コール処理とナビゲーションのヒント（P. 22）

## コール処理とナビゲーションのヒント

次の項では、コール処理および Cisco IP Communicator インターフェイスのナビゲートに役立つガイドラインについて取り上げます。

- キーボードショートカットの使用方法 (P. 22)
- メニューの使用方法 (P. 23)
- ウィンドウ制御ボタンの使用方法 (P. 25)
- 回線とコールの違いについて (P. 27)
- コールおよび回線のアイコンについて (P. 27)
- コールの選択 (P. 28)
- 機能の操作性とアベイラビリティについて (P. 32)

## キーボードショートカットの使用方法

キーボードショートカット	機能
Ctrl+Shift+A	着信コールに応答します。
Ctrl+D	[ディレクトリ] メニューを開閉します。
Ctrl+S	[設定] メニューを開閉します。
Ctrl+R	[サービス] メニューを開閉します。 <sup>1</sup>
Ctrl+M	ボイスメッセージシステムを開きます。
Ctrl+I	オンラインヘルプシステムを開閉します。
Ctrl+H	ヘッドセットモードのオン/オフを切り替えます。
Ctrl+P	スピーカフォンモードのオン/オフを切り替えます。
Ctrl+T	ミュート機能のオン/オフを切り替えます。
Ctrl+ (1 ~ 8 の番号キー)	回線ボタンまたは短縮ダイヤルボタン 1 ~ 8 を開閉します。
Ctrl+V	名前または電話番号を貼り付けます。
Alt+S	[設定] ダイアログボックスを開きます。
Alt+K	[クイック検索] ディレクトリ機能を開きます。
Alt+X	Cisco IP Communicator を終了します。
Alt+F4	Cisco IP Communicator を閉じます。
Enter	コールをダイヤルします。
Esc	コールを切断します。



キーボードショートカット	機能
Page Up	現在のオーディオモードの音量を上げます。
Page Down	現在のオーディオモードの音量を下げます。
F2 ~ F6	ソフトキー 1 ~ 5 をアクティブにします。
/ (NumLk 機能が有効な場合)	# キーをアクティブにします。

1. Release 2.0 より前のリリースでは、キーボードショートカットは Ctrl+V です。

## メニューの使用法

次のメニュー項目にアクセスするには、インターフェイスの右上隅にあるメニュー アイコンをクリックするか、またはインターフェイス上の任意の位置で右クリックします。

項目	説明
スキン	インターフェイスの外観を変更する場合に使用します。Cisco IP Communicator には、デフォルトのスキン (右クリック > [スキン] > [デフォルトモード]) とコンパクトなスキン (右クリック > [スキン] > [コンパクトモード]) という 2 つのスキンが用意されています。スキンの図については、図 2 および図 1 を参照してください。
スクリーンのみ	スクリーンのみ表示のオン/オフを切り替えます。スクリーンのみ表示で Cisco IP Communicator を使用する場合は、キーボードショートカットが特に役立ちます。P. 22 の「キーボードショートカットの使用法」を参照してください。
常に手前	この機能のオン/オフを切り替えます。この機能を有効にすると、他のアプリケーションがアクティブな場合でも、デスクトップに Cisco IP Communicator インターフェイスが表示されたままになります (インターフェイスを最小化することもできます)。P. 32 の「機能の操作性とアベイラビリティについて」を参照してください。
オーディオ調整ウィザード	オーディオ デバイスの選択および調整に役立つツール [オーディオ調整ウィザード] を起動します。P. 10 の「オーディオ調整ウィザードの使用法」および P. 90 の「Cisco IP Communicator のトラブルシューティング」を参照してください。

項目	説明
貼り付け	任意の Windows プログラムから番号をコピーして、ダイヤルボックスに貼り付けてから、 <b>[ダイヤル]</b> をクリックするか、または <b>Enter</b> キーを押すことで、コールを発信できます（この機能のキーボードショートカットは Ctrl+V です）。Cisco IP Communicator は、番号に適切なダイヤル規則をすべて適用し、自動的にダイヤルします。
クイック検索	[クイック検索] ダイアログボックスを開きます（このダイアログボックスを開くキーボードショートカットは Alt+K です）。[クイック検索] では、1 つの検索コマンドで 1 つ以上のディレクトリを検索できます。P. 85 の「クイック検索機能の使用方法」を参照してください。
Cisco ユーザオプション	Cisco Unified IP Phone ユーザ オプション Web ページを開きます。この Web ページで、機能、設定値、および IP 電話サービス（短縮ダイヤルボタンなど）を設定できます。このメニュー オプションは、[ユーザ設定] ウィンドウのユーザ名フィールドとパスワードフィールドに情報を入力するまで、無効のままになります。P. 57 の「短縮ダイヤルボタンの設定」および P. 88 の「ユーザ オプション Web ページへのログイン」を参照してください。
設定	[設定] ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスには、[ユーザ]、[ネットワーク]、[オーディオ]、および [ディレクトリ] というウィンドウがあります。P. 59 の「設定の表示とカスタマイズ」を参照してください。（[設定] にアクセスするキーボードショートカットは Alt+S です）。
ヘルプ	オンライン ヘルプ版の『Cisco IP Communicator ユーザ ガイド』へのリンクを提供します。
Cisco IP Communicator について	Cisco IP Communicator ソフトウェアのバージョン情報を表示します。
終了	Cisco IP Communicator インターフェイスを終了します。

## ウィンドウ制御ボタンの使用方法

目的	操作
メニューにアクセスする	次のいずれか1つを実行します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• インターフェイスの右上隅にあるメニュー ボタンをクリックします。</li><li>• インターフェイス上の任意の位置で右クリックします。</li></ul>
インターフェイスを最小化する	次のいずれか1つを実行します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• インターフェイスの右上隅にある最小化ボタンをクリックします。</li><li>• Cisco IP Communicator のタスクバー ボタンを1回または複数回クリックします。</li></ul>
モードを切り替える	次のいずれか1つを実行します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• インターフェイスの右上隅にあるモードボタンをクリックします。</li><li>• メニューから <b>[スキン]</b> を選択します。</li></ul>
インターフェイスを非表示にする	システムトレイのアイコンを右クリックし、 <b>[隠す]</b> を選択します。この操作によりタスクバーから Cisco IP Communicator のアイコンが消えますが、アプリケーションが閉じるわけではありません。
インターフェイスを復旧させる	次のいずれか1つを実行します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• システムトレイのアイコンをダブルクリックします。</li><li>• タスクバーのボタンアイコンをクリックします。</li></ul>
終了する	次のいずれか1つを実行します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• インターフェイスの右上隅にある <b>[閉じる]</b> アイコンをクリックします。</li><li>• メニューから <b>[終了]</b> を選択します。</li><li>• システムトレイのアイコンを右クリックし、<b>[終了]</b> を選択します。</li></ul>

### ヒント

- Cisco IP Communicator インターフェイスが非表示または最小化の状態の時に新しいコールを受信すると、着信通知ウィンドウがポップアップします。**[常に手前]** 機能が有効の場合は、インターフェイスが自動的に復旧し、デスクトップの前面に表示されます。
- 他のアプリケーションがアクティブな場合でも、デスクトップに Cisco IP Communicator インターフェイスを前面に表示しておくには、メニューから **[常に手前]** を選択します（**[常に手前]** 機能を選択している場合でも、インターフェイスを最小化できます）。

## 着信通知の使用方法

目的	操作
コールに応答する	<ul style="list-style-type: none"><li>ポップアップ ボックスの任意の位置をクリックします（ミュートアイコンを除く）。</li></ul>
呼出音をミュートにする	<ul style="list-style-type: none"><li>ポップアップ ボックス上のミュートアイコンをクリックします。</li></ul>
着信通知を隠す	<ul style="list-style-type: none"><li>[設定] &gt; [ユーザ] に移動し、[着信通知を隠す] チェックボックスをオンにします。</li></ul>




### ヒント

着信通知ポップアップ ボックスで呼出音をミュートにした場合は、以降のすべての着信コールで呼出音がミュートにならないよう、忘れずにミュートを無効にする必要があります。







## 回線とコールの違いについて

回線とコールを混同しないために、次の説明を参照してください。

- 回線：回線は、他人が自分へのコールに使用できる電話番号（または内線番号）にそれぞれ対応しています。Cisco IP Communicator では、設定に応じて 1～8 回線をサポートできます。自分の回線数を確認するには、電話スクリーンの右側を見ます。回線の数、電話番号および電話回線アイコン  の数と同じです。
- コール：各回線では、複数のコールをサポートできます。デフォルトでは、Cisco IP Communicator は 1 本の回線につき 4 つの接続コールをサポートしますが、システム管理者は必要に応じてこの数を調整できます。アクティブとなり得るコールは常に 1 つに限定されるので、他のコールはすべて自動的に保留状態になります。





## コールおよび回線のアイコンについて

Cisco IP Communicator には、コールおよび回線の状態（オンフック、保留中、呼び出し中、接続中など）の判断に役立つアイコンが表示されます。

アイコン	コールまたは回線の状態	説明
	オンフック回線	この回線のコールアクティビティはありません。オンフック（プレダイヤル）でダイヤルしている場合は、オフフックにするまでは進行中のコールになりません。
	オフフック回線	電話番号のダイヤル中または発信コールの呼出音が鳴っている状態です。ダイヤルのオプションについては、P. 34 の「コールの発信」を参照してください。
	接続コール	通話相手に接続されている状態です。
	呼び出し中のコール	いずれかの回線でコールの呼出音が鳴っています。詳細については、P. 39 の「コールへの応答」を参照してください。
	コールの保留	このコールが保留されています。詳細については、P. 42 の「保留と復帰の使用方法」を参照してください。
	リモートで使用中	共有回線の別の電話機に、接続コールがあります。詳細については、P. 52 の「共有回線について」を参照してください。

## オンフックとオフフック

Cisco IP Communicator がオンフックかオフフックかによって、Cisco IP Communicator の作業や操作手順が異なることがあります。

- オンフック：アクティブなコールはなく、アクティブなダイヤル トーンも聞こえません。Cisco IP Communicator には、オンフック ダイヤル（プレダイヤル）、つまり電話番号を入力または選択してからコールをアクティブにできる機能が備わっています。Cisco IP Communicator がオンフックの場合、各電話番号の横にこのアイコン  が表示されます。
- オフフック：スピーカフォンがアクティブです。あるいは、他の方法を使用して、ダイヤル トーンを鳴らしている、または着信コールに応答しています。電話機がオフフックの場合、コールまたは回線の状態に応じて、、、または  のいずれかのアイコンが表示されます。P. 27 の「コールおよび回線のアイコンについて」を参照してください。






## コールの選択

Cisco IP Communicator の機能の多くは、その機能の対象となるコールが選択されていることを前提にしています。たとえば、保留中のコールが 4 あるうち、2 コールだけを会議コールに参加させるとします。このような場合は、会議に追加するコールを選択してから、機能を有効にします。

目的	操作
コールを強調表示する	マウスを使用して、コール リスト内の任意のコールをクリックします。コールがより明るい背景に対して強調表示されます。
コールを選択する	接続コールまたは保留状態のコールを強調表示し、 <b>[選択]</b> をクリックします。選択されたコールの横に、 <input checked="" type="checkbox"/> が表示されます。
選択したコールを確認する	ナビゲーション ボタンをクリックして、コールのリストをスクロールします。選択されたコールは <input checked="" type="checkbox"/> で示され、コールのリストでまとめて表示されます。

## コールの表示と切り替え

次に示すヒントは、1本または複数の回線でコールを切り替えるときに役立ちます。切り替え先のコールが自動的に強調表示されない場合は、電話スクリーン上のコール表示をクリックします。

目的	操作
同じ回線のコールを切り替える	切り替え先のコールを強調表示し、 <b>[復帰]</b> をクリックします。別のコールが自動的に保留状態になります。
接続コールから切り替えて、呼出音が鳴っているコールに応答する	<b>[応答]</b> または  (点滅しているオレンジのボタン) をクリックします。この操作により、最初のコールの保留が自動的に行われます。
異なる回線のコールを切り替える	切り替え先の回線の  (点滅している緑のボタン) をクリックします。回線で保留になっているコールが1つの場合、コールは自動的に復帰します。回線で保留になっているコールが複数ある場合、必要に応じて特定のコールを強調表示して、 <b>[復帰]</b> をクリックします。
特定の回線におけるすべてのコールを表示する	 をクリックしてから、すぐに回線ボタンをクリックします。この操作によりコールの詳細が表示されますが、コールの状態は影響を受けません。そのため、ある回線で通話しながら別の回線で保留中のコールを表示する場合に便利です。
回線のアクティビティの概要を表示する (回線ごとに1つのコール)	強調表示された回線の  をクリックします (回線は、関連付けられているコールが電話機のスクリーンに表示されると強調表示されます)。  この操作により、電話機がコールの概要モードに切り替わり、回線ごとに1つのコールが表示されます。このコールは、アクティブなコール、または通話時間の最も長い保留中のコール (すべてのコールが保留中の場合) のいずれかです。  標準の表示に戻るには、  をクリックしてから、すぐに回線ボタンをクリックします。






### ヒント

- アクティブとなり得るコールは1つに限定されるので、他のコールは自動的に保留状態になります。
- 同じ回線に複数のコールがある場合は、優先順位が最も高く、通話時間の最も長いコールがコールのリストの先頭に表示されます。
- 同じタイプのコールは、コールのリストでまとめて表示されます。たとえば、相互に通話したコールは先頭付近に、選択されたコールは次に、まだ応答していないコールは末尾にまとめて表示されます。

## 電話スクリーンの項目の選択

電話スクリーンの項目の 選択方法	操作
クリックする	マウスを使用して、電話スクリーンの項目をクリックします。電話スクリーンで電話番号をクリックすると、Cisco IP Communicator でその番号がダイヤルされます。
項目番号を指定する	ダイヤルパッドで該当する番号をクリックします。たとえば、メニューの4番目の項目を選択するには、 <b>4</b> をクリックします。
項目までスクロールする	ナビゲーション ボタンをクリックするか、またはキーボードの矢印キーを使用して、リストをスクロールし、項目を強調表示します。対応するソフトキー（ <b>[選択]</b> や <b>[ダイヤル]</b> など）をクリックして、操作を終了します。

## 機能メニューの使用方法

目的	操作
機能メニューを開閉する	次の機能ボタンをクリックします。  メッセージ  サービス  ヘルプ  ディレクトリ  設定
リストまたはメニューをスクロールする	ナビゲーション ボタンをクリックします。
機能メニューの1つ前のレベルに戻る	<b>[終了]</b> をクリックします。このとき、メニューの最上位レベルで <b>[終了]</b> をクリックすると、メニューが閉じます。
開いている機能メニューを切り替える	電話スクリーンで機能タブをクリックします。機能メニューごとに、対応するタブがあります。タブは機能メニューが開いているときに表示されます。









## テキストの入力と編集

目的	操作
電話スクリーンで文字を入力する	コール機能をクリックして強調表示し、キーボードを使用して文字や数字を入力します。
入力した文字を削除、またはカーソルの位置を移動する	文字や数字を 1 つ削除するには、キーボードの <b>Back Space</b> キーを使用するか、電話スクリーンの [ <b>&lt;&lt;</b> ] または [ <b>削除</b> ] をクリックします。カーソルを右に移動するには、マウスを使用するか、または電話スクリーンの [ <b>&gt;&gt;</b> ] をクリックします。

## オンライン ヘルプへのアクセス

Cisco IP Communicator には、包括的なオンライン ヘルプ システムが備わっています。ヘルプ トピックは電話スクリーンに表示されます。次の表に詳細を示します。

目的	操作
メイン メニューを表示する	<p>Cisco IP Communicator の  をクリックし、メニューが表示されるまで数秒待ちます。すでにヘルプがアクティブな場合は、[メイン] をクリックします。</p> <p>メイン メニューには、次の項目が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• Cisco IP Communicator について : Cisco IP Communicator に関する詳細な説明</li><li>• 操作方法 : Cisco IP Communicator の一般的なタスクに関する手順や情報</li><li>• コール機能 : コール機能に関する説明や手順</li><li>• ヘルプ : ヘルプの使用やアクセスに関するヒント</li></ul>
ボタンまたはソフトキーについて	<p> をクリックしてからすぐにボタンまたはソフトキーをクリックします。</p>
メニュー項目について	<p> をクリックしてからすぐに電話スクリーンのメニュー項目をクリックします。</p> <p>または、メニュー項目を選択して  を素早く 2 回クリックします。</p>
ヘルプの使用方法について	<p> をクリックします。数秒待ってから  をもう一度クリックするか、またはメイン メニューから [ヘルプ] を選択します。</p>
ユーザ ガイドにアクセスする	<p>[メニュー] &gt; [ヘルプ] をクリックするか、またはアプリケーション上で右クリックして [ヘルプ] を選択します。</p>

## 機能の操作性とアベイラビリティについて

Cisco IP Communicator の操作方法および利用可能な機能は、社内で使用されるコール処理エージェント、および社内の電話機サポート チームによる電話機システムの設定内容によって異なります。そのため、このユーザ ガイドで説明する機能の一部が利用できない場合や、電話システム上で異なる動作をする場合があります。機能の操作方法またはアベイラビリティについて確認する場合は、社内のサポート デスクまたはシステム管理者にお問い合わせください。